



「ありがとう」「ごめんなさい」が言える人に

校長 佐藤 元

(以前、ブログでも紹介しましたが) あるクラスの授業で。担当の先生が、プリントを一つずつ配りました。プリントが後ろに回され、ある列の一番後ろの生徒が前の席の人からプリントを受け取った時のことです。チョコンと頭を下げてお辞儀をしたのです。もちろん、お辞儀をして受け取る生徒は、どのクラスにもいます。微笑みながら「ありがとう」と言って受け取る生徒も。

「ステキだな」「なんて心優しい生徒なのだろう。」

そう思ったと同時に、心がとっても温かくなったのを覚えています。そして、自分が学級担任だった頃、よく口にしていた言葉を思い出しました。

「ありがとう」「ごめんなさい」が言える人になろう。

「数学の公式や英語の文法を覚えることはもちろん大事だけれど、そんなことより『ありがとう』『ごめんなさい』が素直に、すぐに言える人になろう。思っただけではダメだよ。ちゃんと口で伝えなきゃ、なかなか伝わらないよ。机から落としてしまった消しゴムを隣の人に拾ってもらったら、すぐに『ありがとう』ってね。逆に、悪いことしたなって気付いたらすぐに『ごめん』ってね。この二つの言葉が言える人はきっと幸せになれると思うよ。」

今でもこの思いは変わりません。どんなに成績がよくても、どんなに運動神経がよくても、どんなにお金があったとしても……。『ありがとう』『ごめんなさい』が言えない人は、絶対に幸せになれない。逆に、このたった二つの言葉をすぐにきちんと言える人は、必ず周りの人から支えてもらえる。応援してもらえる。そう思いませんか。

あなたはどうですか？ 言えますか？ 言えていますか？ それとも、やってもらって、してもらって当然、当たり前と黙ったままですか。間違ったことをしても、間違ったことをしたと思っても、黙ったままですか。

学校だけではありません。家ではどうですか。

子どもたちだけではありません。私たち教職員はどうでしょうか。保護者のみなさまはどうでしょうか。私は……。ちょっと自信がありません。特に家族には。

冒頭の生徒たちのように、いつでも、誰にでも、どんな状況でも、自然に「ありがとう」「ごめんなさい」が言える人になりたいです。

<下越地区大会結果 敬称略>

野球（五泉北・三川・五泉合同チーム）

1回戦 対豊浦・京ヶ瀬・安田・七葉中合同チーム 16対4

2回戦 対紫雲寺・新発田東合同チーム 6対11

サッカー 予選リーグ 対新発田東 0対1 対村上東 0対4

ソフトテニス男子 団体 1回戦 対新発田第一 0対3 個人 入賞ならず

ソフトテニス女子 団体 1回戦 対本丸 0対3 個人 入賞ならず

バスケットボール男子 1回戦 対築地 70対28 2回戦 対神林 49対58

バスケットボール女子 1回戦 対安田 74対8 2回戦 対新発田第一 45対39

3回戦 対佐渡中等 50対56

卓球男子 団体 予選リーグ 対水原 0対3 対新発田東 2対3 対村上東 2対3

個人 入賞ならず

卓球女子 団体 予選リーグ 対新発田川東 0対3 対中条 0対3 対朝日 0対3

個人 入賞ならず

剣道男子 団体 予選リーグ 対水原 1対4 対中条 5対0 対村上第一 1対4

対荒川 5対0

決勝トーナメント 1回戦 対猿橋 2-3

県大会出場校決定戦 対阿賀野 3対2 結果5位 **県大会出場**

剣道女子 団体 予選リーグ 対東蒲原 0対4 対中条 4対0 対村松桜 3対0

決勝トーナメント 1回戦 対本丸 3対2 準決勝 対村上第一 0対5

順位決定戦 対猿橋 2対1 結果3位 **県大会出場**

バドミントン男子 個人 H(3) 1位 Y(2) 3位

バドミントン女子 個人 入賞ならず

バレーボール女子 Y(2) (Team-K所属) 2回戦 対安田 2対0

準々決勝 対佐和田 2対0 準決勝 対乙 2対1

決勝 対中条 1対2 結果2位 **県大会出場**

陸上競技

共通男子 3000m I(3) 1位 **県大会出場** 共通男子走高跳 Y(2) 1位 **県大会出場**

共通男子 400m S(3) 7位 **県大会出場**

共通女子 800m A(3) 1位 **県大会出場** S(2) 3位 **県大会出場**

共通女子 1500m E(3) 1位 **県大会出場**

<下越地区吹奏楽コンクール>

吹奏楽部のみなさんが、7月16日（日）新潟テルサで行われる下越地区吹奏楽コンクールに出場します。がんばってください！